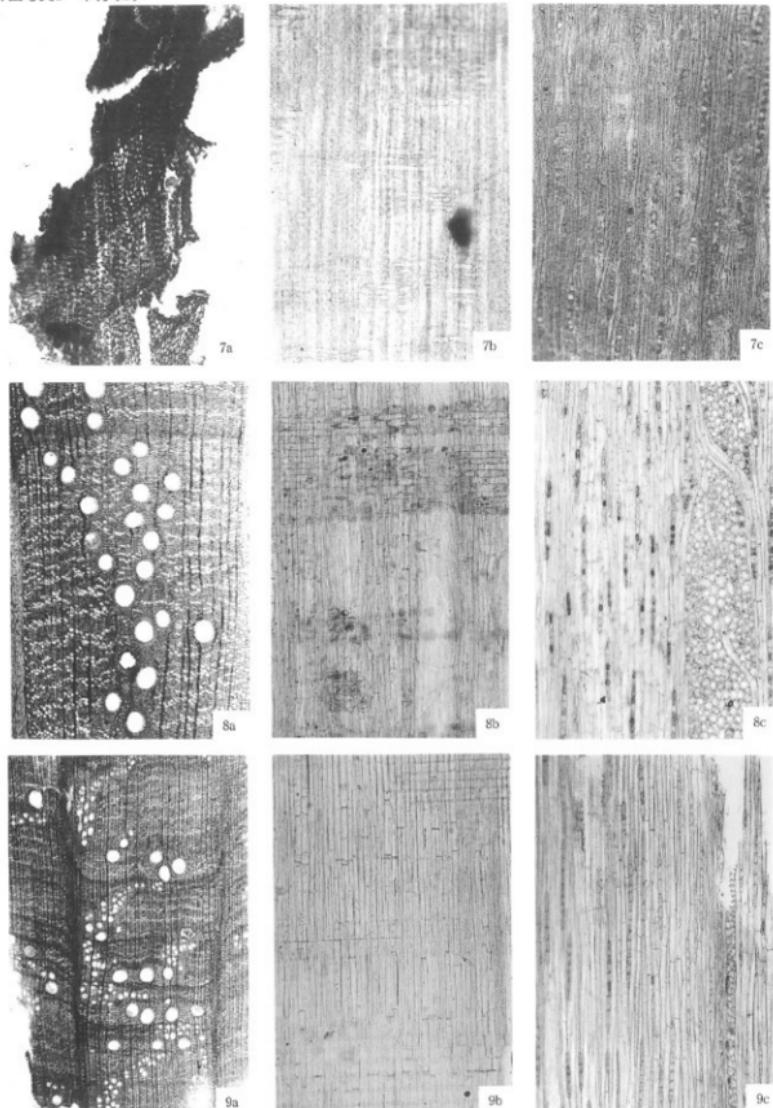


挿図写真9 木材(3)

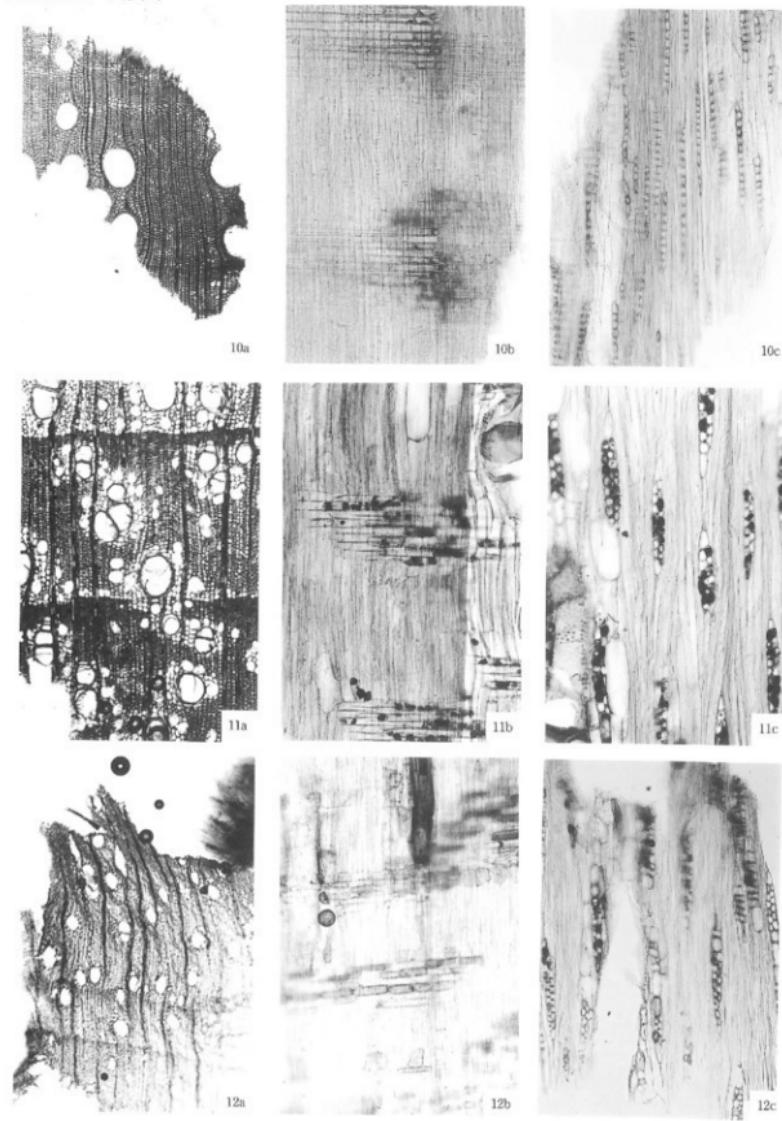


- 7.カヤ (14次 10 W14)
8.コナラ属アカガシ亜属 (14次-9 R18)
9.ツブライ (2次R2-18)

a:木目, b:柾目, c:板目

■ 200 μm:a
■ 200 μm:b,c

押写真10 木材(4)



10.スダジイ (13次-R45-2)

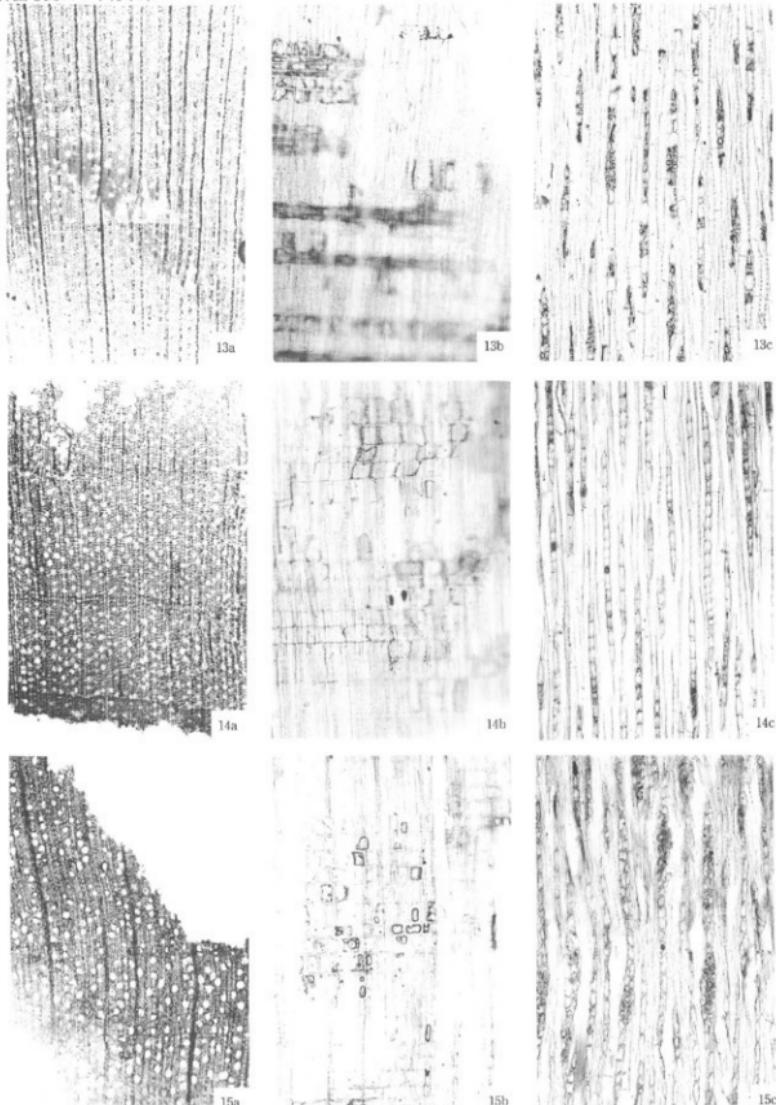
11.クスノキ (14次-10 W4)

12.クスノキ科 (14次-9 R65)

a:木目, b:柾目, c:板目

— 200 μ m : a
— 200 μ m : b, c

挿図写真11 木材(5)



13.ヤブツバキ (14次-18 W026)

14.サカキ (14次-9 R82)

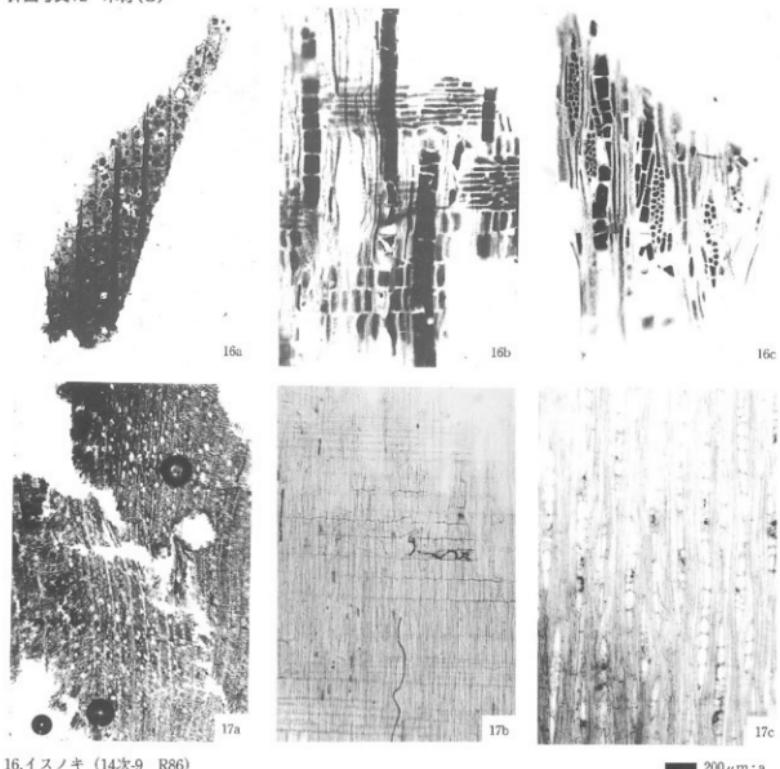
15.ヒサカキ (2次 R2-5)

a:木目, b:柾目, c:板目

200 μm : a

200 μm : b, c

掲図写真12 木材(6)



16.イスノキ (14次-9 R86)

17.アジサイ属 (14次-10 W9)

a:木目, b:柾目, c:板目

■ 200 μ m : a
■ 200 μ m : b,c

第7章 まとめ

今回報告した調査においては、その調査の性格上まとまった範囲での調査はできず、幅の狭い調査区がほとんどであった。このため、各遺構の全体像が把握できる資料は少なかった。しかし、御蔵遺跡の中央から西半にかけて、ほぼ全城をトレンチ状に調査しており、御蔵遺跡の全体的な遺構の分布などの資料を得ることができ、遺跡の全体像を大まかに知ることが出来た。また、本報告に記載した調査以外にも、七地区画整理の進捗によって事業区域内の個人住宅や工場等の再建に伴う発掘調査が並行して進んでおり、これらを総合すると御蔵遺跡の全体像はかなり把握できるようになってきた。以下、周辺の調査成果も若干踏まえ、時代ごとに御蔵遺跡の概要を述べ、まとめて代えたい。

縄文時代晩期 御蔵遺跡内の最古時期の資料は、第3次調査と今回の5丁目南地区第6調査区の下層

～弥生時代 の流路ないしは洪水砂層より出土した、縄文時代晩期の突帯文上器と弥生中期の上器である。ただし、この時期の顯著な遺構は検出されておらず、当遺跡内では集落は営まれていなかつたものと思われる。

弥生時代後期末 弥生時代後期末（庄内併行期）になると新たに集落が営まれる。5丁目北・南地区共にこの時期の土器を多量に出土した上器溜まりや、土坑、溝等がみつかっており、このあたりがこの時期の集落の中心と考えられる。但し、これまでの調査では、堅穴住居は第9次調査で見つかった1棟のみであるため、居住域の様相は詳細には明らかになっておらず、今後の調査によって更なる住居址等の検出を期待したい。

5丁目北・南両地区の西端付近から6丁目北・南地区にかけては弥生時代後期末の遺構面が段差をもって下がる。この区域では湿地性の粘土～シルトの堆積層とその上を覆う洪水砂層が見られる。この粘土～シルト層の上面では畦畔や溝が確認されており水田域を形成していたようである。この層を覆う洪水砂は当遺跡の西半に一様に見られ、この水田域をほぼ同時に覆ったものと考えられる。

出土遺物の特徴としては、他地域からの搬入品が多種見られることである。5丁目南地区第2調査区の上器溜まりからは讃岐産の二重口縁壺・山陰産の二重口縁壺・河内産の甕・近江産の可能性がある甕等が出土しており、また当遺跡の東端にあたる御宿東地区震災復興土地区画整理事業に伴う調査でも、讃岐産の二重口縁壺や吉備産の甕・河内産の甕等が出土している。このように広い範囲の他地域との交流を示す土器が出土する遺跡として、同じ西掛地域では神戸市東灘区にある森北町遺跡が挙げられる。これら他地域の土器が出土する遺跡は当時の中心的な集落と考えられ、御蔵遺跡も弥生時代後期末の摂津地域西部における中心的な集落であったと考えられる。

上記の遺構に続く時期の遺物を含む遺構は5丁目南地区第2調査区S X301や5丁目北地区第4調査区S P302等、かなり少なくなる。この集落は、弥生時代後期末に始まるが、存続期間は短く、古墳時代前期の初頭には急速に衰えたものと考えられる。その理由としては、前記した水田層を覆う洪水砂が見られるように、頻繁に起こったであろう洪水によるものと考えられる。

古墳時代後期から本にあたる6世紀～7世紀初めの遺物や遺構も若干みうけられるが、

当遺跡内では、さほど量は多くない。

飛鳥時代 飛鳥時代の7世紀前半から中頃にかけては、新たな集落が営まれ始める。飛鳥時代の遺構の中心は遺跡の東半にあたる国道28号線を挟んで東側の御菅東地区であるが、この地域では倉庫等を含む掘立柱建物群が見つかっている。⁽⁵⁾

奈良時代 奈良時代の後半から平安時代前半にかけては、遺跡西端の5丁目北・南両地区と6丁目北地区で遺構がみられる。5丁目北・南両地区では、ほぼ方向を同じくする多数の掘立柱建物が見つかっている。また6丁目北地区でも方形掘形の大型の柱穴や井戸等が見つかっている。金屬製の帶金具や転用硯、墨書き器等が出土しており、また付近の調査において土馬も出土している。⁽⁶⁾以上の出土遺物から、これらの建物は官衙的な性格を持つものの可能性も考えられる。

この時期の遺構は、今回の調査区域内の中央に当たる5丁目北・南の両地区的西端から6丁目北・南の両地区的東半の地域では顕著な遺構が検出されず、弥生時代後期末と同様の土地利用がなされ、水田が造られていたと考えられる。

中世 平安時代後期以降の11世紀末から12世紀にかけての中世に入ると、6丁目北地区で主に遺構が検出される。この地区では、掘立柱建物・井戸・木棺墓等がみつかっており、中世の典型的な集落が営まれていたと考えられる。そのうち特に、6丁目北地区第2調査区で見つかった木棺墓群は注目される。同時期の墓は神戸市域においては屋敷地の周辺において単独で造られることが多く、このように密集して集団墓地のように造られる例はない。幅の狭い調査区のため全体の広がりや建物との関係は明らかではないが、今後この地域の墓制を考える上で重要である。

また6丁目南地区で見つかった溝の方向性を見ると、現況の地割りとほぼ方向が同じである。現在の町割は市街化される以前の水田の方向を踏襲しており、中世の水田に伴うと考えられる溝がこの方向に沿っていることと、それ以前の平安時代前期の建物や溝は現況の地割りに沿っていないことを考え合わせると、この地域でのいわゆる「条里制地割り」は12世紀前後に施行されたものと考えられる。

最後に 以上のように、今回の調査においては震災以前にはあまり知られていなかった御蔵遺跡の実態をかなり詳しく知ることができた。今回の調査は第1章でも述べたように震災復興事業に伴う調査であったが、急を要す復興事業にも係わらず、このような多大な成果を得る調査が行えたのも、関係各位のご協力によるものである。最後ではあるが、関係各位に深く感謝するとともに、この地域で亡くなられた方々のご冥福祈って報告の最後としたい。

註

(1) 山口英正「御蔵遺跡第3次調査」『平成9年度神戸市埋蔵文化財年報』神戸市教育委員会2000

(2) 山上雅弘他「第9次調査」山田清朝編『御蔵遺跡—第8・9・10次調査』神戸市教育委員会2000

(3) 安田滋織「御蔵遺跡第17・38次調査発掘調査報告書」神戸市教育委員会2001

(4) 丹治康明「森北町遺跡」『平成元年度神戸市埋蔵文化財年報』神戸市教育委員会1992

(5) (3)と同じ

(6) 平成11年度神戸市教育委員会調査(第20(旧24-2)次調査)調査担当者の川上厚志氏より御教示を受けた。

図 版

図版1



第1調査区東西区西 弥生時代後期末遺構面全景（東から）



第1調査区東西区中 弥生時代後期末遺構面全景（東から）



第1調査区東西区東 弥生時代後期末遺構面全景（西から）



第1調査区南北区 弥生時代後期末遺構面全景（南から）



第1調査区南北区北
弥生時代後期末遺構面 全景
(南から)



第1調査区南北区中
弥生時代後期末遺構面 全景
(北から)



第1調査区南北区南
弥生時代後期末遺構面 全景
(北から)

図版3



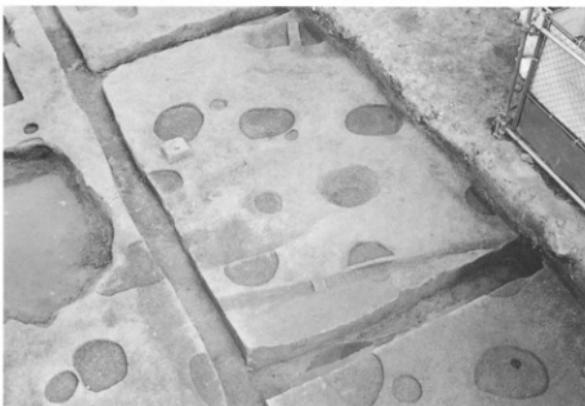
図版4



第1調査区南北区中
奈良時代～平安時代遺構面 全景
(北から)



第1調査区南北区南
奈良時代～平安時代遺構面 全景
(南から)



第1調査区
SB201
(北から)

図版5



第2調査区東西区
全景
(東から)



第2調査区南北区北
全景
(南から)



第2調査区南北区南
全景
(北から)

図版6



第3調査区 第3遺構面 全景（東から）



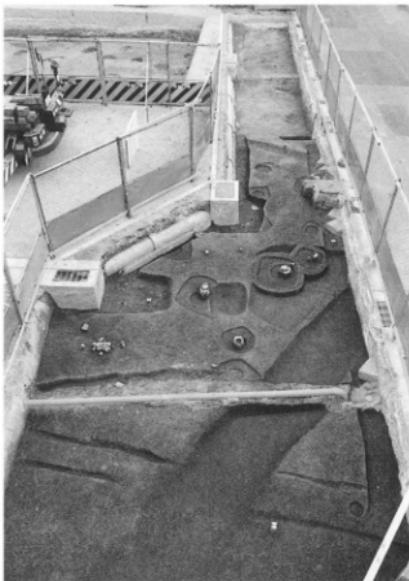
第3調査区 第2遺構面 全景（東から）



第3調査区 第1遺構面 全景（東から）



第3調査区 SE301（北から）



第4調査区東 全景（西から）



第4調査区西 弥生時代後期末遺構面 全景（東から）



第1調査区西 SP301 遺物出土状況（北から）



第4調査区 SP302 遺物出土状況（北から）



第4調査区東 奈良時代～平安時代遺構面 全景（東から）

図版8

5
四北地
区



2



2



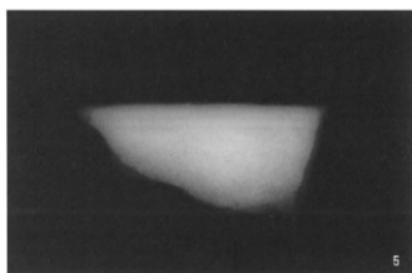
3



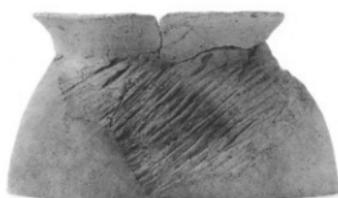
5



1



5



4



第1調査区 出土遺物

図版9

5丁目北地区



6



9



7



11



8



10



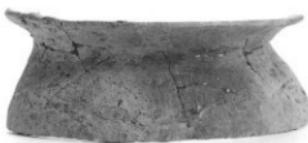
12

図版10

5丁目北地区



15



14



13

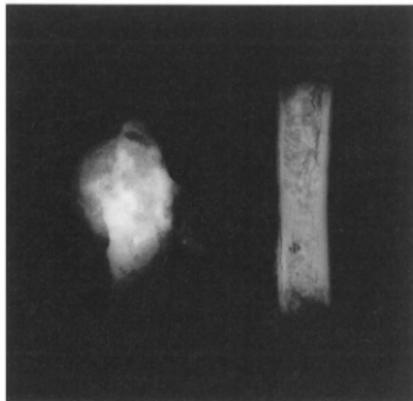


5丁目北地区出土 金属製品



16

第3調査区 出土遺物



5丁目北地区出土 金属製品X線写真



第1調査区南 第3遺構面 全景（南から）



第1調査区中央 第3遺構面 全景（北から）



第1調査区南 第2遺構面 全景（南から）

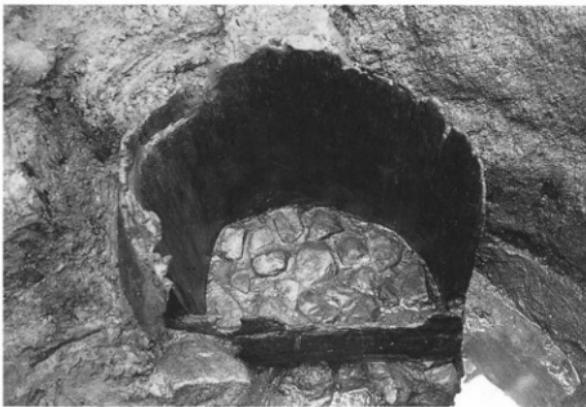


第1調査区中央 第2遺構面 全景（北から）

図版12



第1調査区南
SE201 掘出状況
(東から)



第1調査区南
SE201 石敷棟出状況
(東から)



第1調査区南
SE201 断割り状況
(東から)

図版13



第1調査区中央 第2遺構面 全景（南から）



第1調査区 第1遺構面 全景（南から）



第1調査区中央 第1遺構面 全景（南から）



第1調査区中央 SE101 全景（東から）



第2調査区中央
第2遭構面 全景
(北から)



第2調査区南
第2遭構面 全景
(南から)



第2調査区南
第2遭構面 全景
(北から)

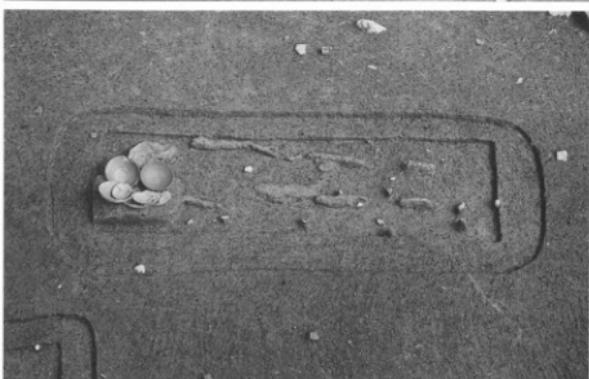


図版16

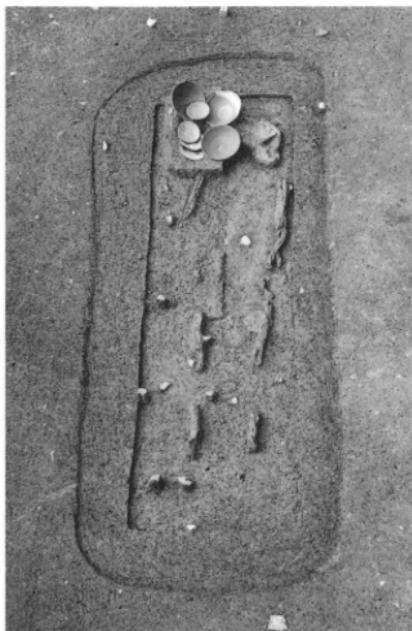




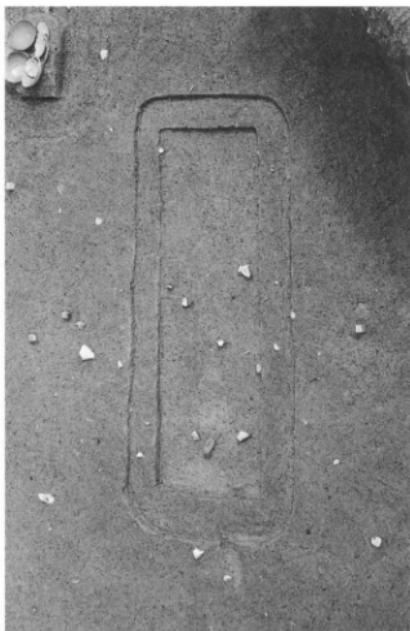
図版18



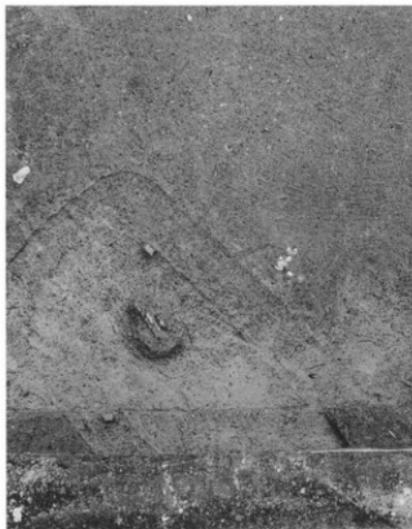
図版19



第2調査区 ST101 全景（南から）



第2調査区 ST103 全景（北から）



第2調査区 ST102 全景（北から）



第2調査区 ST104 全景（南から）

図版20



第2調査区 ST 104 遺物出土状況（南から）



第2調査区 ST 105 全景（北から）



第2調査区 ST 106 全景（南から）



第2調査区 ST 107 全景（南から）

図版21



第3調査区南西 全景（西から）



第3調査区北東 全景（東から）



第3調査区東 全景（南から）

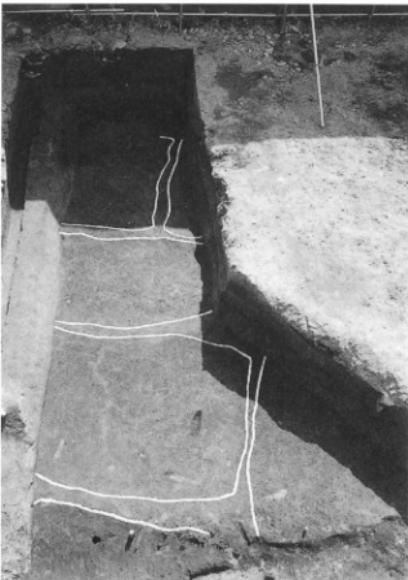


第3調査区北西 全景（東から）

図版22



第4調査区中央 下層 全景（西から）



第4調査区東 水田検出状況（東から）

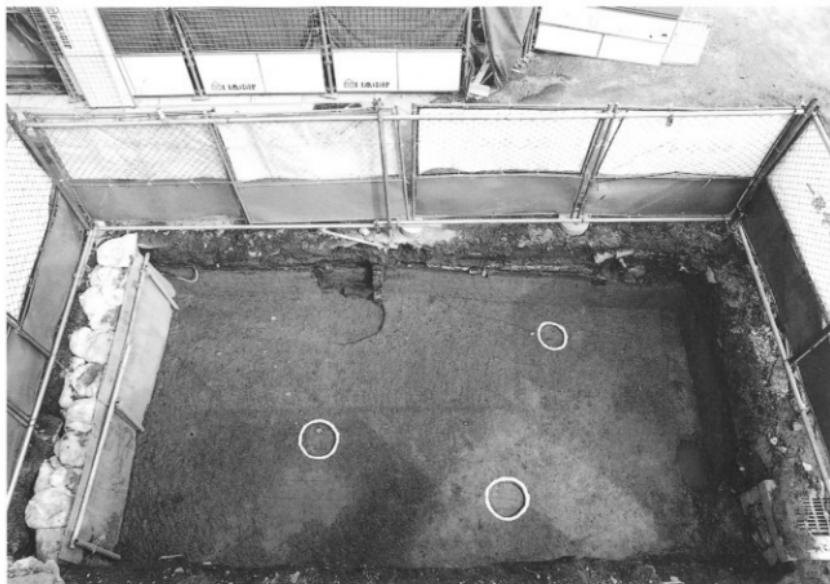


第4調査区西 上層 全景（西から）

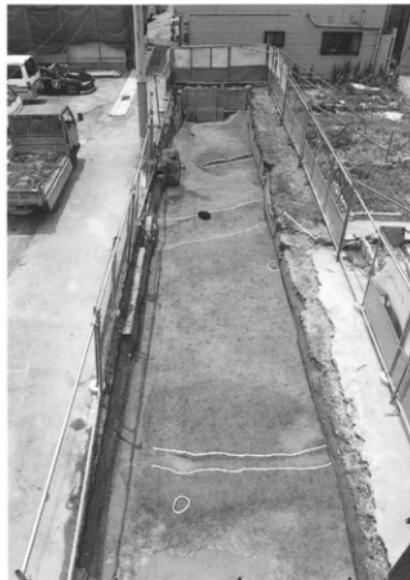


第4調査区中央 上層 全景（西から）

図版23



第5調査区西 全景（北から）



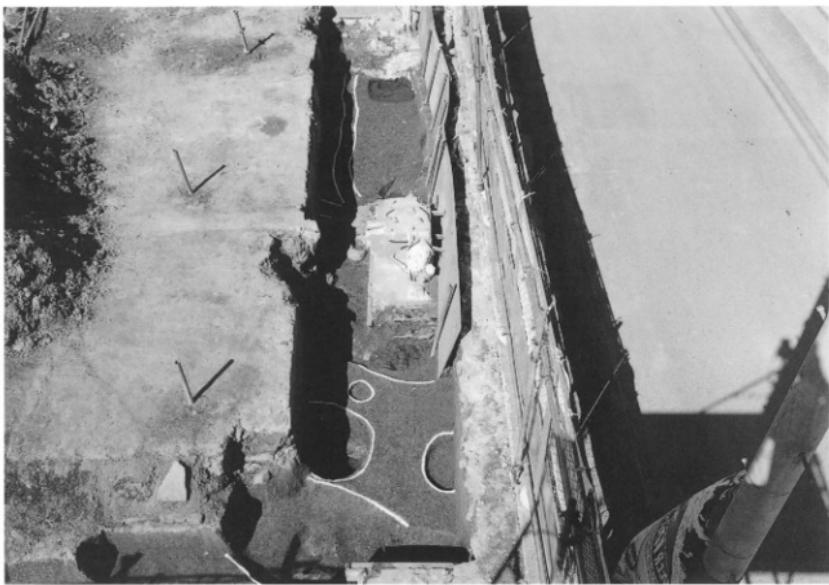
第5調査区中央 全景（東から）



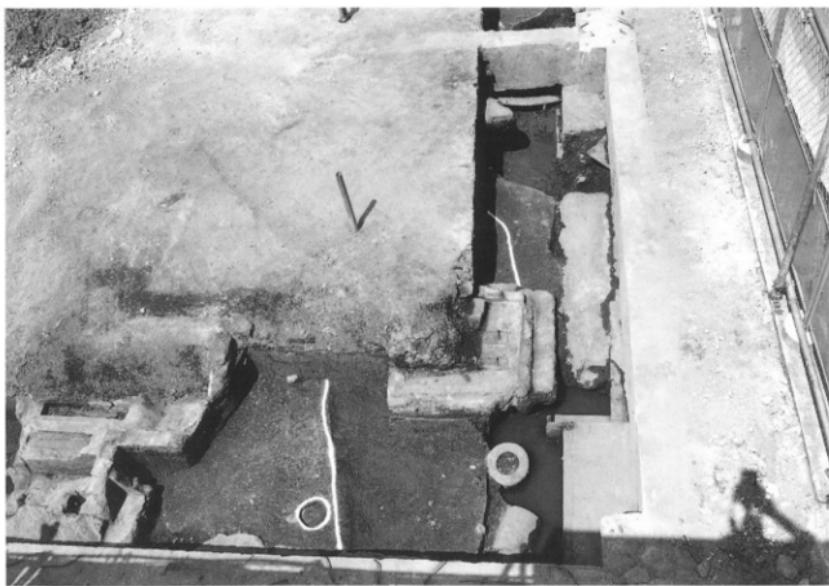
第5調査区東 全景（南から）

図版24

四四一区地圖



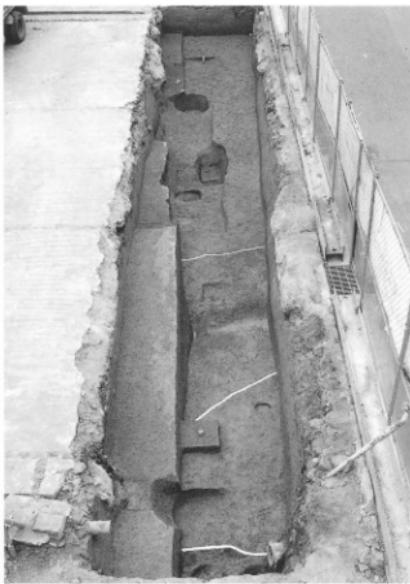
第6調査区東 下層 全景（西から）



第6調査区東 上層 全景（西から）



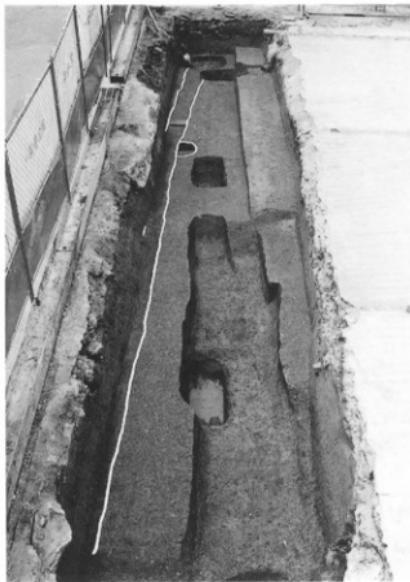
第7調査区西 全景（西から）



第7調査区東 下層 全景（西から）



第7調査区西 全景（西から）



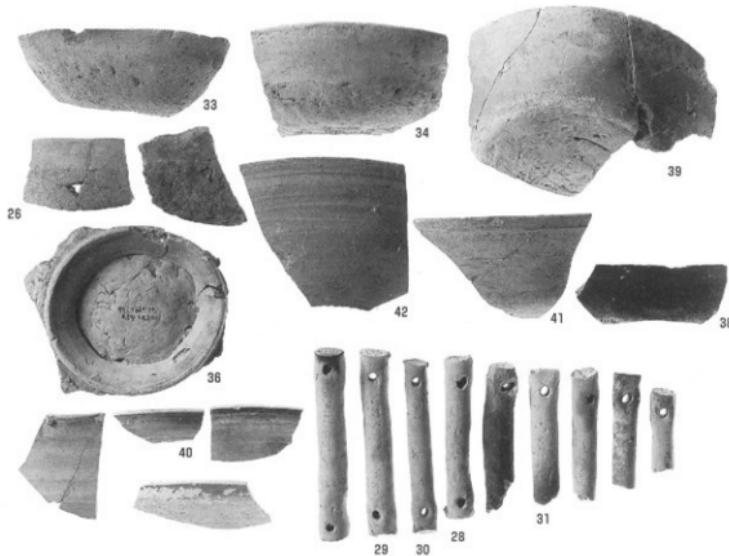
第7調査区東 上層 全景（東から）

図版26

6—四北地区



第1調査区 第3遺構面 遺構出土遺物



第1調査区 SE201 出土遺物



32



35



37



43

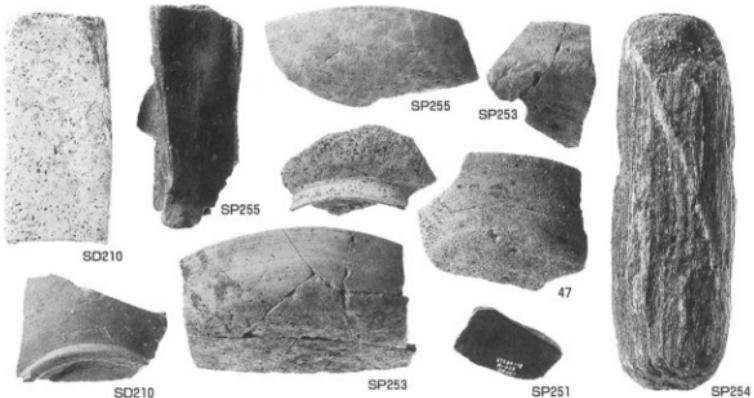
第1調査区 SE201 出土遺物



44



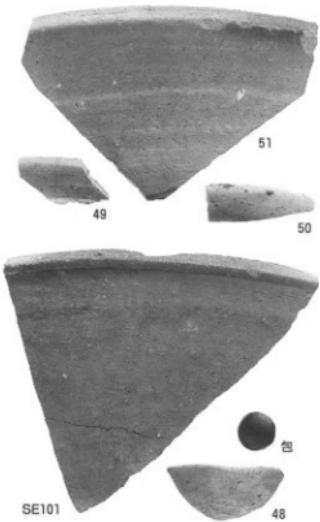
45



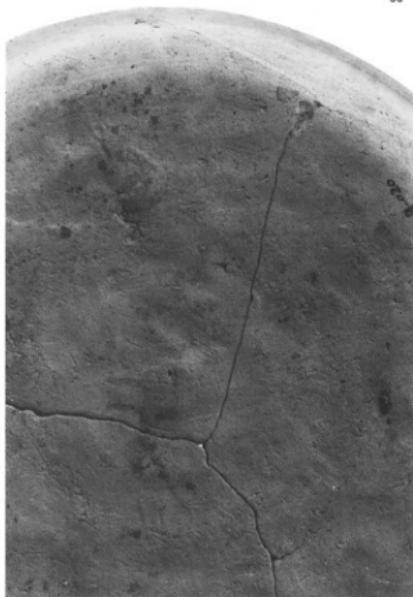
第1調査区 第2遺構面 遺構出土遺物

図版28

6—西北地区



第1調査区 暗灰褐色シルト下層 出土遺物



第1調査区 暗灰褐色シルト下層出土 塗膏土器



58



60



57



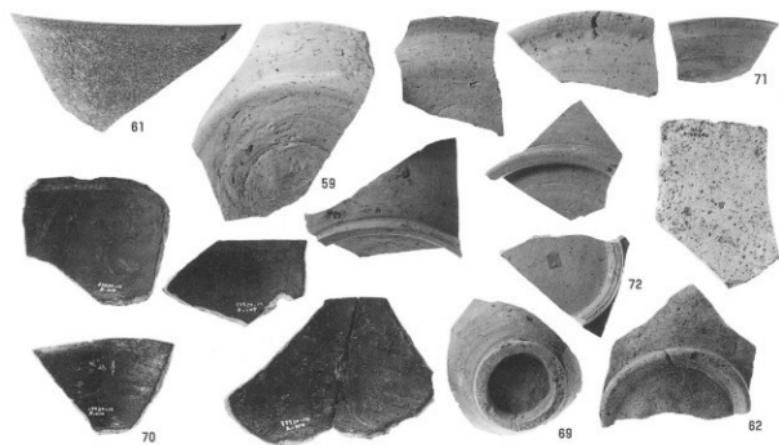
68



第1調査区 暗灰褐色シルト層 出土遺物

図版30

6-1西北地区



第1調査区 暗灰褐色シルト層 出土遺物



第1調査区 SE 201 出土骨子



第1調査区 SE 101 出土木製品



135



135



134



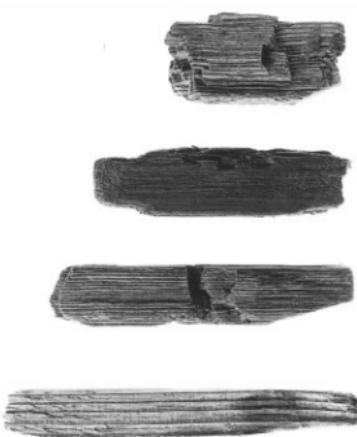
134

図版32

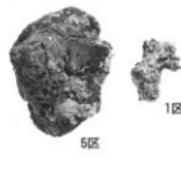
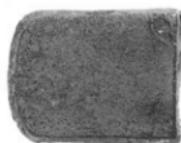
6
図版三二一



第1調査区 SE101 井戸枠部材



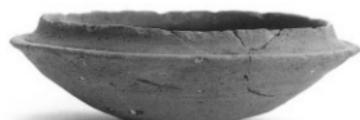
第1調査区 SE101 井戸枠ダボ



138

第1調査区 遺物包含層出土 帯金具(蛇尾)

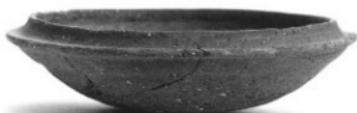
6丁目北地区出土 金属製品及び鉛錠



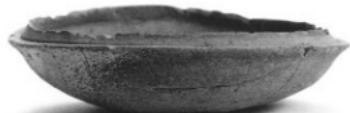
74



84



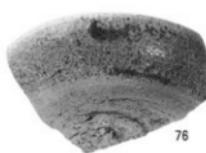
73



75



82



76



77



78



80



81



87



85



83

图版34

6—四北地
区



第2调查区 ST101 出土遗物



97



98



99



100



102



101



103



104



105

図版36

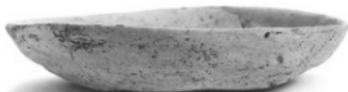
6—四北地区



105



107



106



108

第2調査区 ST104 出土遺物



第2調査区北 暗灰褐色シルト下層 出土遺物



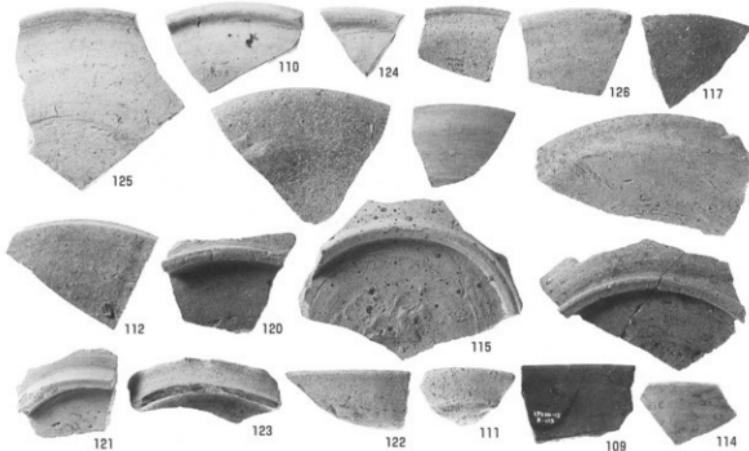
90



第2調査区 灰色シルト層 出土遺物



第4調査区 暗灰褐色シルト下層 出土遺物



第3~5調査区 灰色シルト層 出土遺物

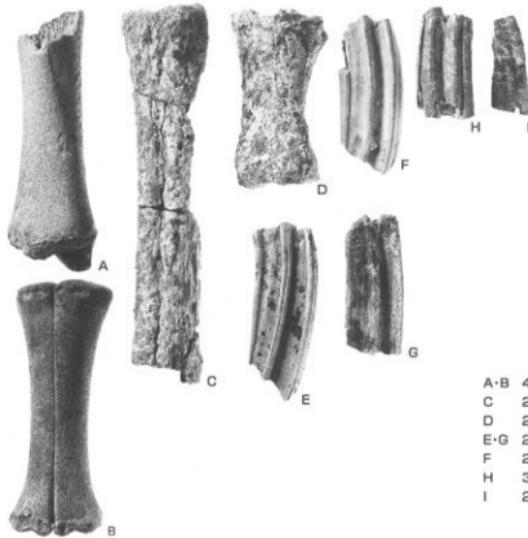
図版38



第2調査区 ST107 出土人骨

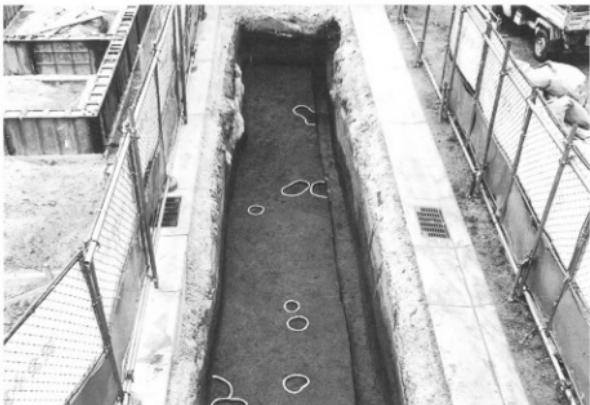


第2調査区 ST104 出土齒



A・B	4区	ウシ
C	2GST102	ウシ
D	2区北	ウマ
E・G	2区SD223	ウマ
F	2区南	ウマ
H	3区	ウマ
I	2区	ウマ

6丁目北地区 出土獸骨



第1調査区
弥生時代後期末遺構面 全景
(西から)

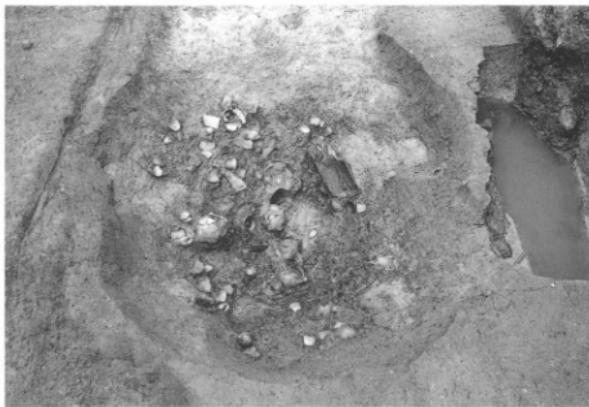


第1調査区
北壁 土層断面



第2調査区
弥生時代後期末遺構面 全景
(東から)

図版40



第2調査区
SX301 遺物出土状況
(北から)



第2調査区
北壁土層断面

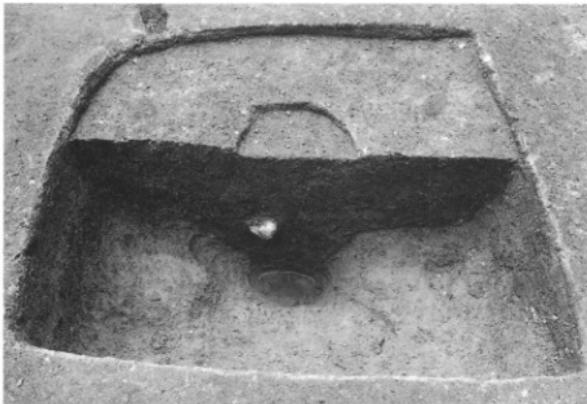


第2調査区
SB201
(西から)

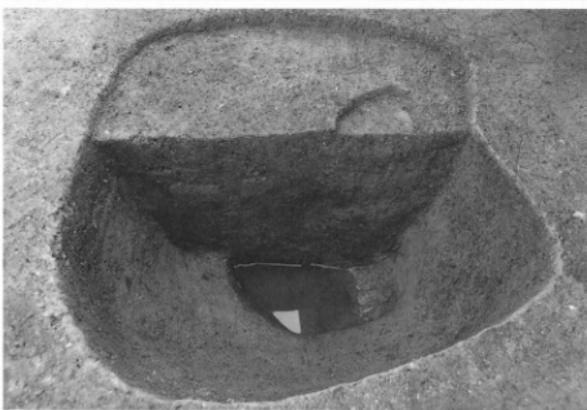


第2調査区　奈良時代～平安時代遺構面　全景（上が北）

図版42



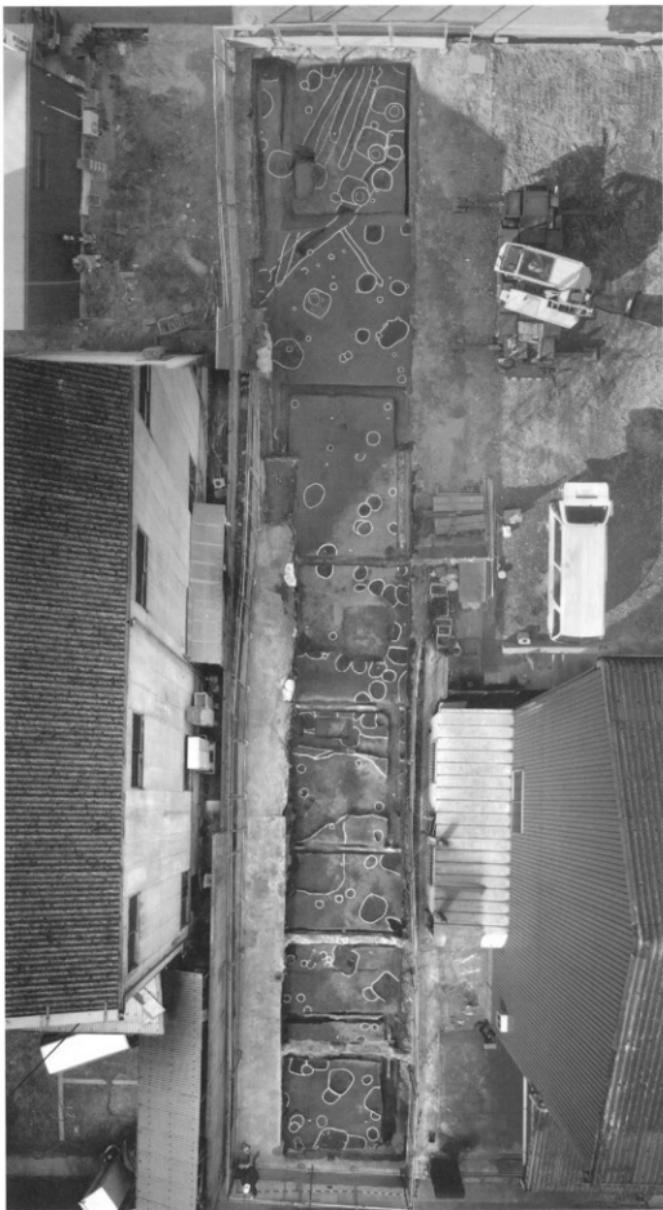
第2調査区
SB201 北列中央柱穴 断面
(北から)



第2調査区
SB201 北列西柱穴 断面
(北から)

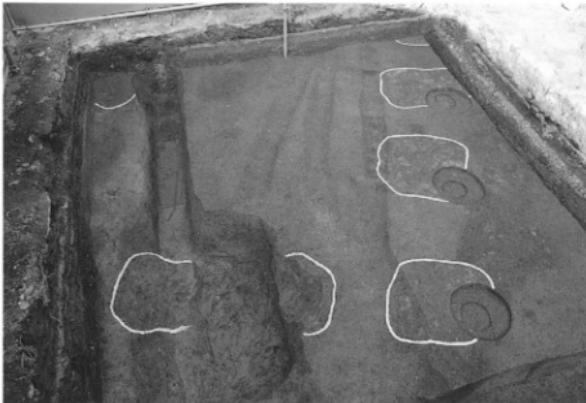


第5調査区
全景
(西から)

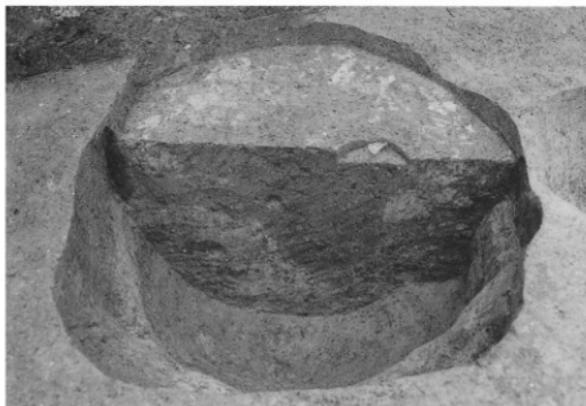


第6調査区 全景（上が北）

図版44



第6調査区
SB 201
(南から)



第6調査区
SB 204 北柱穴断面
(東から)



第6調査区
SB 204 南柱穴断面
(東から)



141

第2調査区 SK301 出土遺物



146



144



147



149



145



150

第2調査区 土器溝より出土遺物（1）

図版46

5—四四南地区



151



159



152



160



153



155



161

第2調査区 土器類より出土遺物（2）



図版48

5丁目南地区



171



175



172



176



173



177



174



175



181



179



182

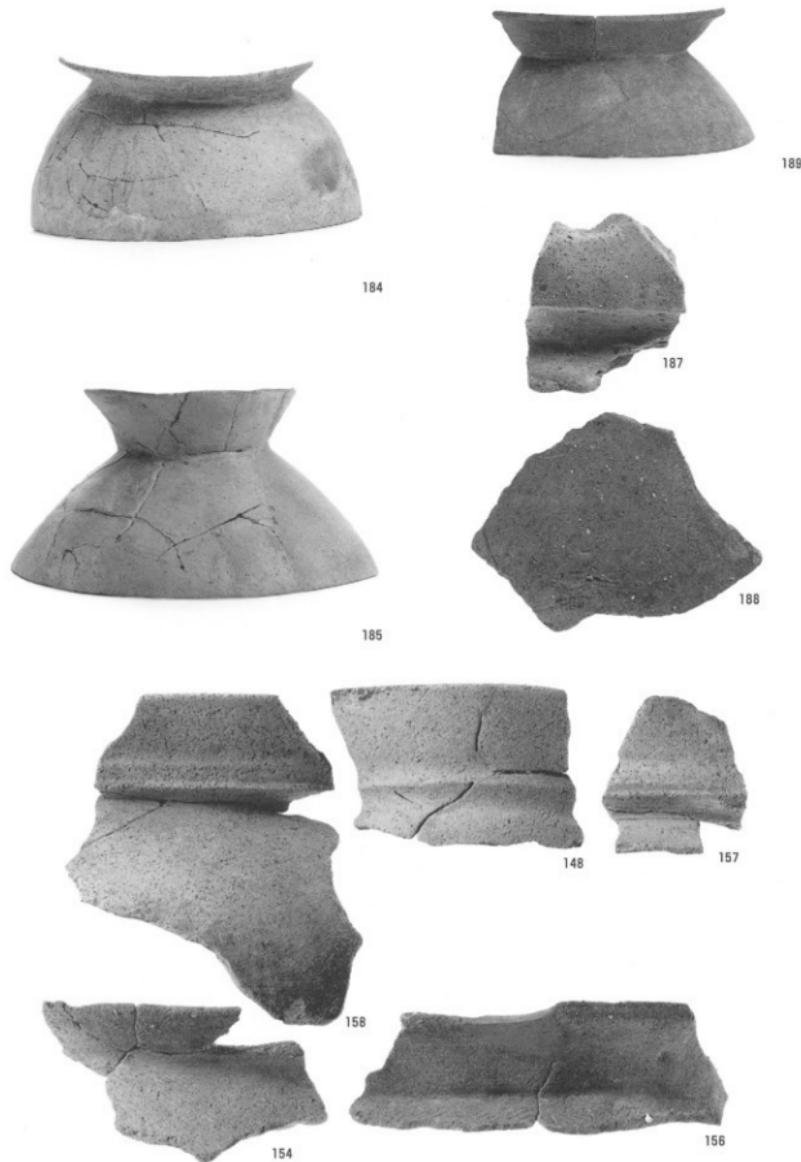


180

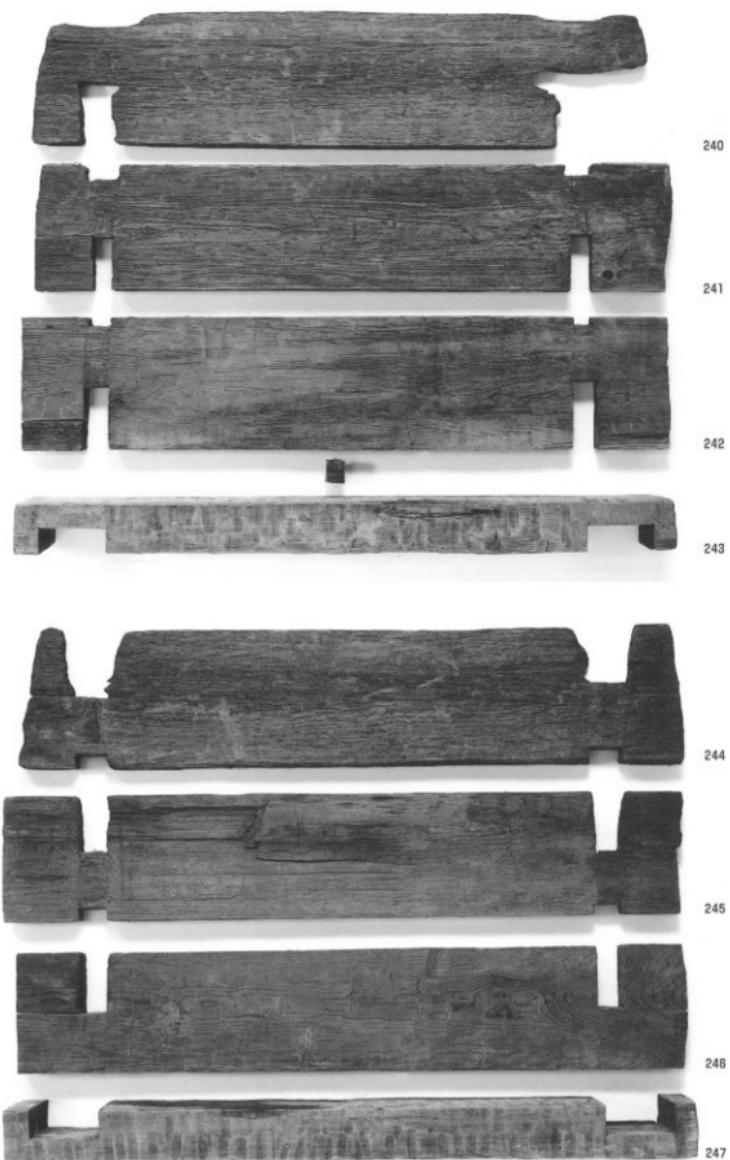


183

図版50



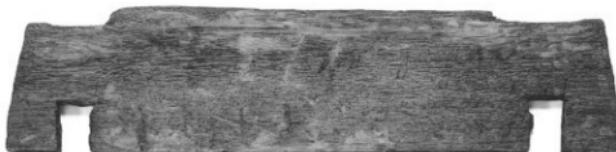
第2調査区 SX301 出土遺物(4) および土器潤まり・SX301 出土鍬入土器



第4調査区 SE201 井戸枠材(1)

図版52

5丁目南地区



248



249



250



251



252



253

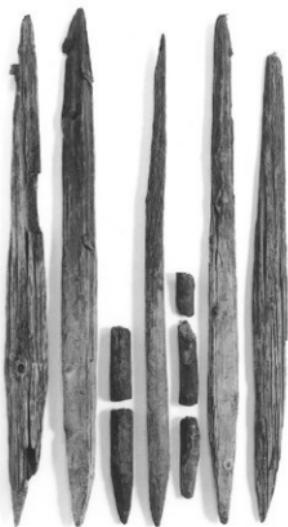


254



255

第4調査区 井戸枠材 (2)



213



226



239



233



237



222

第4調査区 SE201 井戸枠材(3) およびSE201 出土遺物(1)